

## 青年部事業所の各種施策・政策活用事例

商工会名	茨城県取手市商工会		青年部員名	池田 裕児
企業名	有限会社 歌舞伎あられ池田屋		代表者名	池田 裕児
企業概要	業種	米菓製造業	設立年	昭和8年
			従業員数	19人
補助事業名	伝統製法「生切り製法」の継承で他にはない商品群提供のための新たな基盤構築		テーマ区分(選択) 新商品開発・設備投資・ 広報・新規開拓・その他 ( )	

## 【施策・政策を活用した経緯】※企業の経営状況、問題・課題等を含め記入

昔ながらの製法により、手作りのあられとおかきを製造しているが、ベテラン職人による属人的な作業と特定原材料などが意図せず混入してしまう「コンタミネーション」に課題があった。

また、米菓子類市場は成熟化し、需要は横ばいの状態が続いている。一方、近年では「やわらかい食感の米菓」がブームになるなど、消費者の趣向も多様化していることから、メーカーは多品種小ロットの製造が求められている。商品の競争力を強めていくために、弊社が得意とする、伝統製法が生み出す「ふんわり食感」を持った高品質おかきの技術を伝承しながら、より独創的で素材の良さを生かした商品作りに取り組むことにした。

## 【主な活用内容、方法等】

ものづくり補助金を活用し、新たな設備として丸刃水切り切断機、中型仕上げ機、味付け用ドラム混合機を導入した。

## 【活用の成果】

## ※なるべく具体的な数値等(売上、来店数、指標等)を含め記入

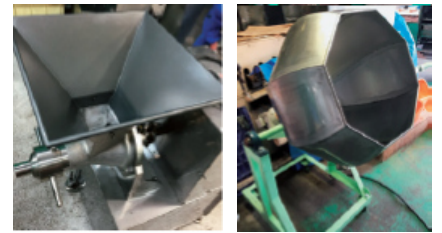
丸刃水切り切断機の導入により、「生切り製法」技術の継承が可能となり、若手の育成の組織体制の構築に成功した。それに伴い、商品と時間のロスが減少し生産性が10%以上向上した。

また、中型仕上げ練機により、様々な素材を生地に直接練りこむことが可能になった。中型仕上げ練機が2台導入されたことにより、単一ラインによる多品種小ロット生産を回避できるようになったため、設備洗浄などに多くの時間をとられることがなくなり、より効率的に生産体制を組むことができるようになった。

同じく、多品種小ロットの生産体制を確立するにあたり、味替えのための掃除や段取り替えがネックになっていたが、味付け用ドラム混合機の導入により、段取り替え時間の大幅な短縮と、生産効率向上の実現にも成功した。「コンタミネーション」の防止についても、中型仕上げ練機を2台導入したことにより、完全に分離することに成功した。これによりこれまで以上に安全性が高まり、多角的な商品開発が可能になった。

設備導入前年対比で、売上17.3%、営業利益82.4%、経常利益70.4%増加。

## 写真(3枚程度)



## 【活用後の声】

今後は、導入した設備をフルに生かし、時代のニーズに合った様々な商品を作っていきたいと考えている。

また、原料がお米のため高カロリーだと敬遠する顧客が増えたので、今後は健康をより意識したカロリーを抑えた商品を作りたい。県産ゴボウを練り込んだものなど、地元には魅力あふれる素材が溢れているので、独創的で素材の良さを生かした製品作りに励んでいきたい。